

2023年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2023年6月31日	身近なサイエンス・実験教室！	<講演者> 教育学部・GEC自然科学教育部門職員 <実施内容> 教育学部・GEC自然科学教育部門化学実験室にて行われる文化系学生を対象とする実験科目から項目をピックアップ、これを対象者に合わせアレンジして実施。
2023年10月24日	「〈戦前〉のリアルを知る——三上智恵監督最新作『沖縄、ふたたび戦場へ』スピノフ作品上映会」	<講演者> 後藤 雄介（教育・総合科学学術院 教授） <実施内容> 映画「沖縄、ふたたび戦場へ（三上智恵監督 作）」の上映会
2023年12月12日	「創ろう！新たなキャリア教育」～セカンドキャリアも見据えて～	<講演者> ①はばら ゆうすけ（大阪府内小学校 教員） ②美濃屋 裕子（スクールソーシャルワーカー） ③藤本 啓寛（教育総合科学学術院 助教） <実施内容> ばらゆうすけによる絵本『人間本会議』『ひまわり』を用いた参加型ワークショップ（90分）の実施 1. 著者による絵本の説明 2. 『人間本会議』を用いた就学前診断の概要についての説明 3. 『ひまわり』を題材とした参加者同士のディスカッション・ワークショップ 4. スクールソーシャルワーカーによるコメント
2023年12月12日	「どうしてあいつは『ひまわり』なの？」 ー絵本から考えるインクルーシブ教育ー	<講演者> ①はばら ゆうすけ（大阪府内小学校 教員） ②美濃屋 裕子（スクールソーシャルワーカー） ③藤本 啓寛（教育総合科学学術院 助教） <実施内容> ばらゆうすけによる絵本『人間本会議』『ひまわり』を用いた参加型ワークショップ（90分）の実施 1. 著者による絵本の説明 2. 『人間本会議』を用いた就学前診断の概要についての説明 3. 『ひまわり』を題材とした参加者同士のディスカッション・ワークショップ 4. スクールソーシャルワーカーによるコメント
2023年12月16日	「創ろう！新たなキャリア教育」～セカンドキャリアも見据えて～	<講演者> 細山田 武史（トヨタ自動車野球部 コーチ） 福満 遼（外資系金融機関 社印） 三村 隆男（教育・総合科学学術院 教授） <実施内容> セカンドキャリアおよびセカンドキャリア教育の在り方に関するイベントを実施した。
2023年12月23日	SCHOOL SHIFT	<講演者> ①石川 一郎（元かえつ有明中高校長、元香里ヌヴェール学院中高校長、聖ドミニコ学園カリキュラムマネージャーなど現在8校の学校コンサル、地理歴史学科1985年卒） ②齋藤 亮次（公文国際学園中高等部教諭／ブランド分析室、早稲田大学教育・総合研究所特別研究員、地理歴史学科2011年卒） ③宮田 純也（一般社団法人未来の先生フォーラム代表理事、武蔵野大学アントレプレナーシップ研究所客員研究員、教育学科 2014 年卒） <実施内容> ハイブリット開催。3名の演者を招いて学校教育と教師の未来についての対談

2024年1月28日	注文に時間のかかるカフェ上映会～吃音について知ろう～	<講演者> 奥村安莉沙（注文に時間のかかりカフェ 代表） <実施内容> ハイブリット開催。吃音についてより多くの方に知ってもらうことを目的に、「注文に時間のかかるカフェ」映画の上映会。 実施内容は、第1部で上映会を行い、第2部で映画の監督（奥村安莉沙様）をお呼びし、講演会・質疑応答を実施した。
------------	----------------------------	---

2022年度 教育会イベント実施 一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2022年10月31日	「世界の見え方が180度変わった青ヶ島教育プログラムから学ぶ、学外教育の重要性」	<講演者> 株式会社NOWMO FUNDより3名登壇 事業内容：教育機会の創出 <実施内容> 株式会社NOWMO FUNDの方々と当該プログラムに参加した早稲田大学高等学院に通う2名の生徒および早稲田大学の学生2名とのパネルディスカッション。また参加者を交えたグループワークを実施。
2022年11月1日	労働問題解決に取り組んできたNPO法人代表が語る、現在の労働問題について	<講演者> NPO法人POSSE代表 今野晴貴氏 <実施内容> 演者による講演

2021年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2022年2月20日	オンラインシンポジウム 「21世紀の学校探究プログラムーこれからの公教育のあり方について考えるー」	講演会およびディスカッション（Zoom） これからの公教育のあり方をテーマとしたオンラインシンポジウムを実施した。教育哲学と教育工学といった異なる分野の専門家や、特色ある「新しい学校」の代表者にご登壇いただき、質疑応答およびオープンディスカッションを行った。 講演者：東京コミュニティスクール理事長、田園調布学園中等部・高等部学校長、Loohcs株式会社取締役、三尾忠男教授、藤井千春教授
2022年6月24日	NPO法人による子どもたちの音楽体験活動 ～参加型クラシックコンサートの実演とコロナ禍での現状＆課題～	講演会およびディスカッション、演奏会（対面） NPO法人みんなのことばの皆様をお呼びして、子どももおとなも楽しめる参加型コンサートの実演を交えながら、コロナ禍における活動の現状と課題についてご報告いただく。

2020年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2021年2月14日	若手教員のホンネー現場で何が起きているのかー	講演会およびディスカッション（Zoom） 若手教員による教育現場の変化の受け止め方ー変化を能動的にとらえる公立・私立小学校の教諭（2名から、教師の一日の働き方、コロナ禍で学校がどのような対応をしていたのか、自身のキャリア選択の背景についての話をしていただきました。 その後、参加者同士でディスカッションをし、最後に、教育・総合科学学術院、河村 茂雄教授より総括いただきました。

2019年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2019年10月29日	企業が求める「主体性」とは何か	「企業が求める『主体性』とは何か～企業の管理職者の視点から～講演会・ディスカッション」 企業が求める「主体性」に着目し、以下についての講演、ディスカッションを実施した。 ① 企業が求める「主体性」とは、何を意味しているのか、 ② 企業では、「主体性」などの資質・能力を、仕事を通じてどのように育成しているのか
2019年11月11日	探究学習の可能性をさらに探る～深い学びの実現を目指して～	共同的な学習におけるMI理論を活用したグルーピングと、省察についての深い学びに重点をおいたワークショップを実施
2019年11月23日	多様なキャリア形成を考える－学校とLGBT－	シンポジウムにおいて、パネリストより学校現場におけるLGBT への取り組みの必要性やLGBT の子どもが学校生活で困ること等について聞き、参加者一人一人がLGBT の子どもたちとの望ましい関わり方について考え、今後の教員生活へ活かす機会とした。
2019年11月29日	こども食堂からみえる子ども・大人・地域社会	日本の子ども食堂の先駆けとなった「気まぐれ八百屋だんだん」（大田区）を運営する近藤博子氏を講師に招き、子ども食堂と、食堂を訪れる子ども達の現状について講演した。
2019年12月1日	小学校「プログラミング教育」勉強会	「小学校プログラミング教育」についての講演会を実施した。 小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、その方向性の検討や、具体的にどのような実践を行うことが出来るかを検討・体験した。
2019年12月12日	中米コスタリカに学ぶ、二一世紀平和憲法の未来	「映画『コスタリカの奇跡』を観て二一世紀の平和憲法のあり方について考える」 日本では不戦を謳った第九条と同様の条項を持つ憲法を有する中米のコスタリカでは、21世紀に相応しいものとしてこれを打ち出し、国内外にアピールする姿勢をより鮮明にしている。企画ではそうしたコスタリカの取り組みを描いた映画『コスタリカの奇跡』（マシュー・エディー、マイケル・ドレリング監督、2016年）を上映。併せて、元朝日新聞記者で中南米支局長時代よりコスタリカを含むラテンアメリカ地域を精力的に取材し、現在はピースポート等の講師として平和憲法と民主主義の意義を説いている伊藤千尋氏をお招きし、映画の解説ならびに同様の憲法を有するコスタリカと日本の今後について講演した。
2019年12月20日	身近なサイエンス・実験教室	概説→実験→詳解のフローにて、実験の体験を通し現象を理解し、自然科学に向かう洞察力を養う ・水の気化、液化する際の体積の比較観察 ・合金化傾向の応用、合金の生成
2020年1月18日	外国籍児童生徒とキャリア教育	・文部科学省の調査では、日本語指導が必要な児童生徒の割合は、増えているとされているが、適切な文化理解のもとに指導がなされていない。また、在留資格の問題や企業の受け入れ態勢の問題等によって、進路指導担当教諭の指導が複雑になっている問題点を本シンポジウムにおいて、問題提起をするとともに、パネリストから外国人児童生徒の学校適応と進路指導の2点を中心にお話を聞き、学校内での異文化共生社会の実現に向けて現場では何ができるのかについて考えた。
2020年1月29日	学びのユニバーサルデザイン 学びのオーナーシップは誰のもの？	講演会・ワークショップ 子どもたちが主導する「主体的・対話的で深い学び」を実現するかが教師にとって喫緊の課題である。学習者主導の学びを教室で実現していくためには、教師一人ひとりの在り方（マインドセット）が大きく転換しなければならない。そこで、近年急速な広がりを見せ、日本でも少しずつ実践が広がりつつあるUDLを日本の教室と関連付けながら学んだ。
	教員就職指導会	複数回実施 ・合格体験談 ・論文指導 ・『小学校教員資格認定試験』体験発表会